

今村輝久 1918 - 2004

- 1918 大正7年
8月 大阪市南区(現・中央区)瓦屋町に生れる。
5人兄弟の長男で生家は江戸宝永年間(1704年 -1710年)
から続く鑄造業を営んでいた。
- 1925 大正14年 7歳
4月 大阪市立金甕尋常小学校に入学する。小学校では図画
手工が好きで、将来は絵かきになりたいと思ったこと
があった。
- 1930 昭和5年 13歳
3月 金甕尋常小学校を卒業する。
- 1931 昭和6年 14歳
4月 京都市立美術工芸学校彫刻科に入学する。
- 1937 昭和12年 19歳
3月 京都市立美術工芸学校彫刻科を卒業する。
4月 東京美術学校彫刻科塑造部に入学する。
- 1941 昭和16年 23歳
5月 第1回直土会展、東京府美術館に[首]を出品、奨励賞を
受ける。
6月 同級生有志により青塑会を結成、銀座紀伊国屋画廊/東
京にてグループ展を聞く。
10月 第4回文展、東京府美術館に[女]を出し初入選する。以
降文展、日展に4回出品する。
- 1942 昭和17年 24歳
5月 第2回直土会展、東京府美術館に[春の作]を出品、奨励
賞を受ける。
9月 東京美術学校彫刻科を卒業する。
10月 第5回文展、東京府美術館に[秋の作]を出品する。
中部第33部隊(輜重隊)に入隊する。幹部候補生として
教育を受ける。
- 1943 昭和18年 25歳
4月 第3回大阪市展、大阪市立美術館に[首]を出品、朝日新
聞社賞を受ける。
- 1944 昭和19年 26歳
3月 中支樁部隊に転属命令を受け湘桂作戦に参加する。
- 1945 昭和20年 27歳
8月 終戦、1年間中国湖南省長沙附近にて抑留生活を送る。
- 1946 昭和21年 28歳
6月 中支より復員する。
9月 大阪市立美術研究所に籍を置き、人体彫塑の研修を始
める。
- 1947 昭和22年 29歳
3月 大阪市展、難波文化会館/大阪に[首]を出品、大阪市長
賞3席を受ける。
4月 大阪浪速高等学校に美術科講師となるが1ヶ年で退職す
る。
6月 建島覚造、板谷慎等10数名で農生会彫刻グループを作
り、第1回展を銀座シバタギャラリー/東京で聞く。
10月 第2回日展、東京都美術館に[女性]を出品する。
体調悪く診断の結果肺結核であるとわかり自宅で約半
年間静養する。
- 1948 昭和23年 30歳
3月 関西総合美術展、大阪市立美術館に[猫]を出品し、関
展賞3席を受ける。
第2回農生彫刻展、銀座千疋屋/東京に[首]を出品する。
中島快彦、向井良吉、野崎一良、阿井正典なども参加
した。
- 1949 昭和24年 31歳
3月 関西総合美術展、大阪市立美術館に[晨]を出品し関展
賞1席を受ける。
4月 第3回農生彫刻展、日本橋丸善/東京に出品する。
- 1950 昭和25年 32歳
この年の春、行動美術協会に彫刻部を作られることを
建島覚造君からの連絡で知り、官展には疑問を感じて
いたので即座に出品参加することを決める。
9月 第5回行動美術展、東京都美術館に推選出品を受け、
[女の頭像]を出品する。
行動美術協会会員に推される。
- 1951 昭和26年 33歳
9月 第6回行動美術展、東京都美術館に[まゆみの為に]を出
品する。
- 1952 昭和27年 34歳
5月 岡田雅江と結婚する。
9月 第7回行動美術展、東京都美術館に[拙]を出品する。
- 1953 昭和28年 35歳
3月 関西総合美術展、大阪市立美術館に[裸婦]を出品する。
審査委員となる。
大阪市立美術研究所講師となる。
第8回行動美術春季展、日本橋三越/東京に[臥]を出品す
る。
9月 第8回行動美術展、東京都美術館に[作品]を出品する。
- 1954 昭和29年 36歳
9月 第9回行動美術展、東京都美術館に[虚空]を出品する。
- 1955 昭和30年 37歳
3月 第10回行動美術春季展、日本橋三越/東京に[作品2]を出
品する。
9月 第10回行動美術展、東京都美術館に[座せる形態]を出
品する。
10月 26人展、心齋橋御門ギャラリー/大阪に[かお]を出品す
る。
- 1956 昭和31年 38歳
この頃より思考において、半具象的な形態から非形象
的なものへと移行し、しばらく模索が続いた。
4月 京都市立美術大学彫刻科非常勤講師となる。
9月 第11回行動美術展、東京都美術館に[顔]を出品する。
10月 26人展、心齋橋御門ギャラリー/大阪に[かお]を出品す
る。
- 1957 昭和32年 39歳
3月 第12回行動美術春季展、日本橋三越/東京に[変貌せしも
のI]を出品する。
朝日新人展、なんば高島屋/大阪/朝日新聞社主催に選抜
され[変貌せしものII]を出品する。

- 9月 第12回行動美術展、東京都美術館に[変貌せしものIII]を出品する。
- 1958 昭和33年 40歳
3月 行動美術会員数名の共同制作により大阪朝日新聞社より依頼を受け、朝日フェスティバルホール南面外壁に信楽焼による大レリーフ[牧羊神]を制作完成する。
京都市立美術大学非常勤講師を退職する。
- 9月 第13回行動美術展、東京都美術館に[偶像]を出品する。
10月 京都成安女子短期大学美術科非常勤講師となる。
- 1959 昭和34年 41歳
9月 第14回行動美術展、東京都美術館に[変身]を出品する。
この頃から鉄溶接の抽象形体を手がけると同時に鉄による鑄造作品も試みる。
- 1960 昭和35年 42歳
7月 第9回全関西美術展、大阪市立美術館に[虚]を出品する。
9月 第15回行動美術展、東京都美術館に[変身]を出品する。
集団現代彫刻第1回展、池袋西武/東京に出品する。
- 1961 昭和36年 43歳
9月 第16回行動美術展、東京都美術館に[作品]を出品する。
- 1962 昭和37年 44歳
4月 第11回全関西美術展、大阪市立美術館に[作品]を出品する。
6月 ISPAAイスパア国際造形芸術協会を結成する。
9月 第17回行動美術展、東京都美術館に[相関体X.I]を出品する。
11月 集団現代彫刻2回展、池袋西武/東京に[ある飛行の記録]を出品する。
- 1963 昭和38年 45歳
6月 第1回ISPAAイスパア国際展、神戸大丸/兵庫県を開きく[変身II] [変身III]を出品する。
9月 第18回行動美術展、東京都美術館に[作品]を出品する。
- 1964 昭和39年 46歳
4月 第13回全関西美術展、大阪市立美術館に[エチュード]を出品する。
6月 第2回ISPAAイスパア国際展、あの画廊/大阪に[変身III]を出品する。
- 1965 昭和40年 47歳
2月 朝日新聞社より全国高校野球優勝メダル、参加章の原型制作の委嘱を受け3ヶ年間に担当制作する。
7月 ISPAAイスパア国際展、本間美術館/山形県酒田市に[変身IV]を出品する。
9月 第20回行動美術展、東京都美術館に[作品2記録]を出品する。
- 1966 昭和41年 48歳
3月 京都成安女子短期大学を退職する。
4月 夙川学院短期大学美術科教授となる。
5月 第5回ISPAAイスパア国際展、中宮画廊/大阪に[作品3記録]を出品する。
9月 第21回行動美術展、東京都美術館に[題名のないモニュメント]を出品する。
- 1967 昭和42年 49歳
6月 大阪府立青少年会館、噴水彫刻及び壁面レリーフを制作する。
8月 第8回ISPAAイスパア国際展、新世紀百貨店/韓国ソウル特別市に[作品4記録]を出品する。
9月 第22回行動美術展、東京都美術館に[題名のないモニュメント2]を出品する。
この頃大阪在住彫刻家の数名により彫刻を美術館から開放して野外に並べ、市民に彫刻の理解を高め野外空間での彫刻のありかたを考える研究会を作る。
- 1968 昭和43年 50歳
3月 大阪彫刻家会議を結成する。
エジプト、ギリシャ、イタリア、フランス、スペイン、イギリスその他に研究旅行する。
9月 第23回行動美術展、東京都美術館に[鉄による作品]を出品する。
- 1969 昭和44年 51歳
2月 第6回ISPAAイスパア国際展、タイムス社ホール/沖縄に[小品]を出品する。
9月 第24回行動美術展、東京都美術館に[ANIMAL]を出品する。
第8回ISPAAイスパア国際展、京都市美術館に亜鉛による[ANIMAL]を出品する。
10月 第1回花と彫刻展、大阪市鞆公園/大阪彫刻家会議主催に[題名のないモニュメント]を出品する。
- 1970 昭和45年 52歳
1月 最初の個展 今村輝久彫刻展、今橋画廊/大阪を開く。
試みたテラコッタによる抽象形態13点を発表する。
7月 全関西美術展、大阪市立美術館に[不在の中のかたち1]を出品する。
9月 第25回行動美術展、東京都美術館に[ANIMAL6]を出品する。
- 1971 昭和46年 53歳
9月 第26回行動美術展、東京都美術館に[無題S-46]を出品する。
10月 第2回現代国際彫刻展、箱根彫刻の森美術館/静岡県に[題名のないモニュメント2]を出品する。
11月 ISPAAイスパア国際展、新世紀百貨店/韓国ソウル特別市に[HANAYOME]を出品する。
- 1972 昭和47年 54歳
9月 第1回韓日現代彫刻展、ソウル画廊/韓国ソウル特別市、韓国現代彫刻会主催に[題名のないモニュメント3]を出品する。
10月 第1回西宮市芸術祭美術展、大谷記念美術館/兵庫県西宮市に[題名のないモニュメント]を出品する。
行動美術協会を退会する。
- 1973 昭和48年 55歳
3月 個展 今村輝久彫刻展、第七画廊/東京に真鍮と亜鉛による鑄造彫刻[不在の中のかたちシリーズ]15点の抽象彫刻を発表する。毎日新聞、サンケイ新聞に紹介され好評を受ける。
7月 個展 今村輝久彫刻展、藤美画廊/大阪に第七画廊の作品に新作を加え18点の抽象彫刻を発表する。
全関西美術展、大阪市立美術館に[不在の中のかたち20]を出品する。

- 8月 日韓現代彫刻展、兵庫県立近代美術館に[不在の中のかたち21]を出品する。
- 10月 グリーンプラザ野外彫刻展、彫刻の森美術館共催に招待され[不在の中のかたち25]を出品する。
大阪市天王寺公園にモニュメント[はばたけ平和の空へ]を制作する。
- 1974 昭和49年 56歳
4月 全関西美術展運営委員となる。
10月 第3回西宮市芸術祭美術展、大谷記念美術館/兵庫県西宮市に[不在 無 かたち]を出品する。
- 1975 昭和50年 57歳
7月 全関西美術展に[不在 無 かたち]を出品する。
9月 大阪市買上げによる作品[ANIMAL]を中之島公園内に設置される。
大阪市東淀川区かぶと公園に[太陽の下]モニュメント、外壁レリーフを制作依頼を受け完成する。
- 1976 昭和51年 58歳
7月 全関西美術展、大阪市立美術館に[不在 無 かたち]を出品する。
- 1977 昭和52年 59歳
9月 NHK教育テレビ 美の世界/彫刻の美の制作、イメージ
-11月 作りのデッサンから心棒/肉づけ/石膏とり/鑑賞まで20分を4回にわたり制作工程を放映する。
10月 第7回現代日本彫刻展エスキース展、山口県宇部に[不在の中のかたち12]を出品する。
5人の作家 現代の立体展、今橋画廊/大阪に[不在の中のかたち17]を出品する。
11月 大阪市立美術研究所30年記念展、大阪市立美術館に[不在の中のかたち17]を出品する。
- 1978 昭和53年 60歳
3月 個展 今村輝久彫刻展、第七画廊/東京に12点の亜鉛とアルミニウムの[不在の中のかたち]シリーズを発表する。
7人の作家 現代の立体展、今橋画廊/大阪に[不在の中のかたち17]を出品する。
6月 個展 今村輝久彫刻展、信濃橋画廊エプロン/大阪に[不在の中のかたち]シリーズ、小品数点を発表する。
10月 第6回須磨離宮公園現代彫刻展、兵庫県立近代美術館に[不在の中のかたち]を招待出品する。兵庫県立近代美術館賞を受ける。
11月 大阪彫刻家会議、大阪南港ポータウン彫刻基本計画の作成プロジェクトチームに参画、1979年3月に完成する。
- 1979 昭和54年 61歳
2月 個展 今村輝久展、朝日画廊/京都にアルミニウムの[不在の中のかたち] [封じられた波2]など14点を発表する。
4月 イメージの現代、大阪府立現代美術センター開館記念展に[不在 終焉 回帰1,2]招待出品する。
7月 第七画廊展、第七画廊/東京に[封じられた時限5]を出品する。
全関西美術展、大阪市立美術館に[封じられた色]を出品する。
8月 アートナウ79、兵庫県立近代美術館に[封じられた時限2]を出品する。
- 9月 大阪市南港ポータウン管理センター前に大阪市より依頼の[明日への道標]を制作完成する。
- 10月 第1回架空通信テント美術館展、夙川公園/兵庫県西宮市に[封じられた色]を出品する。
8人の作家 現代の造形展 今村輝久・清水九兵衛・小林陸一郎・建島覚造・土谷武・野崎一良・増田正和・森口宏一、ギャラリー白/大阪に出品する。
- 1980 昭和55年 62歳
2月 小さな立体作品展 青木晋・荒木高子・泉茂・今村輝久・大高猛・河合隆三・河口龍夫・木村光佑・清水九兵衛・小林陸一郎・坂下清・斎部哲夫・田名綱敬一・田中薫・津高和一・外岡秀樹・永井一正・夏原晃子・野崎一良・林秀行・速水史朗・長谷川昇・藤本修三・前中妙・増田正和・宮崎豊治・村上泰造・持田総章・元永定正・森口宏一・森本紀久子・柳原陸夫・山口牧生・矢野正治・吉田和央、ギャラリー白/大阪に出品する。
- 1981 昭和56年 63歳
3月 平面を這う立体作品展 石井厚生・泉茂・今村輝久・岩城信・植木茂・清水九兵衛・国島征二・小林陸一郎・建島覚造・田中薫・野崎一良・速水史朗・堀内正和・増田正和・三浦重雄・元永定正・森口宏一・山口牧夫
ギャラリー白/大阪にレリーフ[封じられた時限7]を出品する。
8月 アートナウ1970-1980展、兵庫県立近代美術館に[不在の中のかたち40]を出品する。
9月 大阪府立青少年会館前に[明日に向って]のモニュメントを制作設置する。
11人の作家 現代の造形展 今村輝久・清水九兵衛・小林陸一郎・建島覚造・土谷武・野崎一良・速水史朗・増田正和・三浦重雄・最上壽之・森口宏一、ギャラリー白/大阪に出品する。
10月 第2回架空通信テント美術館展、夙川公園/兵庫県西宮市に[封じられた色]を出品する。
- 1982 昭和57年 64歳
3月 今日の作家シリーズ 今村輝久展、大阪府立現代美術センターを開催する。[坐せる形態] [不在の中のかたち] シリーズなど44点を出品する。“作家と語る”を建島哲氏の進行のもとに開く。(3月22日)
9月 7人の作家 現代の造形展 今村輝久・清水九兵衛・小林陸一郎・野崎一良・福岡道雄・増田正和・森口宏一、ギャラリー白/大阪に[封じられた時限18,19]を出品する。
- 1983 昭和58年 65歳
3月 夙川学院短期大学、美術科教授を退官する。
Geとその仲間達展、西田画廊/奈良に[封じられた時限23]を出品する。
9月 8人の作家 現代の造形展 今村輝久・清水九兵衛・小林陸一郎・建島覚造・土谷武・野崎一良・増田正和・森口宏一、ギャラリー白/大阪に[封じられた時限23]を出品する。
- 1984 昭和59年 66歳
4月 彫刻7人展、茶屋町画廊/大阪に[封じられた時限25]を出品する。
京都精華大学非常勤講師となる。
6月 個展 今村輝久彫刻展、ギャラリー白/大阪に[封じられた風景] [封じられた時限]シリーズなど7点のアルミニウムの作品を発表する。

- 7月 全関西美術展に[封じられた時限26]を出品する。
- 9月 個展 今村輝久彫刻展、ギャラリー山口/東京で10点のアルミニウム作品を発表する。
第4回テント美術館展の基金のための小品展 荒木高子・泉茂・井上準三・井上青龍・今竹七郎・今村輝久・岩宮武二・河合隆三・河崎晃一・河端亮治・北野正治・久保晃・河野芳夫・小林陸一郎・榮利秋・杉山英行・鈴木治・須田剌太・田中昇・津高一・畑祥雄・林康夫・原山勝・堀尾貞治・前田藤四郎・増井英・増田正和・松井俊二・松本鐵太郎・宮永理吉・持田総章・元永定正・守谷史男・矢野正治・山口牧生・山田幸作・山本哲三・吉田和央・吉田廣喜・吉野晴朗、ギャラリー白/大阪に出品する。
- 1985 昭和60年 67歳
- 3月 大阪府豊中市島江住宅団地にモニュメント[五色の風]を制作設置する。
夙川学院短期大学を退職する。
- 4月 6人のかたち展、茶屋町画廊/大阪に[封じられた時限27,28]を出品する。
- 7月 全関西美術展、大阪市立美術館に[封じられた時限30]を出品する。
- 9月 3人の作家 現代の造形展 今村輝久・建島覚造・土谷武
ギャラリー白/大阪でアルミニウムの[封じられた時限31,32]を出品する。
- 1986 昭和61 68歳
- 5月 大阪市南港緑道コンペ“白鳥のモニュメント”の選考委員をつとめる。
- 7月 12人の造形展、大学堂ギャラリー/大阪に[封じられた風景][86封じられた時限]を出品する。
全関西美術展、大阪市立美術館に[86封じられた時限]を出品する。
- 9月 大阪府豊中市武道館前庭噴水にモニュメント[躍動]を制作設置する。
- 12月 インドへ美術研修旅行する。
- 1987 昭和62年 69歳
- 1月 いま現代美術は……展、画廊ぶらんしゅ/大阪府池田市に[86封じられた時限2]を出品する。
- 4月 宝塚造形芸術大学(現・宝塚大学)教授となる。
- 1988 昭和63年 70歳
- 9月 個展 今村輝久展、なかむら画廊/京都にアルミニウムの[88封じられた時限]シリーズを8点を発表する。
- 10月 大阪市中之島緑道彫刻コンペの選考委員をつとめる。
大阪府スポーツ大賞のトロフィを制作する。
- 1989 平成元年 71歳
- 3月 インド、ガンダーラに仏教美術研修旅行をする。エローラ、アジャンターの石窟寺院の仏像、伽藍建築に感動する。
- 4月 7人のかたち展、茶屋町画廊/大阪に[88封じられた時限1]を出品する。
- 7月 全関西美術展、大阪市立美術館に[88封じられた時限2]を出品する。
- 9月 ル・コルビュジェの彫刻についてを宝塚造形芸術大学(現・宝塚大学)で講演する。
- 10月 大阪市民表彰、文化功労賞を受ける。(10月24日)
- 1990 平成2年 72歳
- 3月 大阪彫刻家会議シンポジウム“魅力ある都市空間の創造めざして”大阪府立文化情報センターのパネラーとして参加する。
- 6月 個展 今村輝久展、伊丹美術館/兵庫県伊丹市で1957年から1990年までに制作した62点の作品を発表する。
- 1991 平成3年 73歳
- 1月 彫刻展 今村輝久・清水九兵衛・建島覚造・福嶋敬恭・森口宏一、ギャラリー白/大阪に[90封じられた時限1]出品する。
- 1992 平成4年 74歳
- 1月 個展 今村輝久展、ギャラリー白/大阪[91封じられた時限]などを発表する。
- 3月 個展 今村輝久展、枚方アート・ギャラリー/大阪府枚方市で発表する。
- 1993 平成5年 75歳
- 3月 阪急宝塚駅前広場/兵庫県宝塚市にモニュメント[明日へのコンセプト]を制作する。
- 9月 現代彫刻3人展 井上昭・今村輝久・松本勝彌、市民ギャラリーとよなか(現・豊中市立市民ギャラリー)/大阪府豊中市に出品する。
- 1996 平成8年 78歳
- 2月 個展 今村輝久展、ギャラリー白/大阪に[95作品L3]などを発表する。
- 9月 現代彫刻展 井上昭・今村輝久・大野良平・川上隆史・杉本留治・田中美恵子・松本勝彌・向出幸子・山川玲子、市民ギャラリーとよなか(現・豊中市立市民ギャラリー)/大阪府豊中市に出品する。
- 1998 平成10年 80歳
- 2月 現代の方向展、画廊ぶらんしゅ/大阪府池田市に出品する。
- 1999 平成10年 81歳
- 1月 UNO Y UNO展、茶屋町画廊/大阪に出品する。
- 2月 机の上と壁のミニ立体展、茶屋町画廊/大阪に出品する。
- 2001 平成13年 83歳
- 8月 彫刻の表現と可能性展 井上昭・今村輝久・大野良平・奥田崇美子・川上隆史・杉本留治・田中美恵子・中嶋莊三郎・松本勝彌・山川玲子・藤隆、市民ギャラリーとよなか(現・豊中市立市民ギャラリー)/大阪府豊中市に出品する。
- 2002 平成14年 84歳
- 1月 とよなかの作家たち展、豊中市立市民ギャラリー/大阪府豊中市に出品する。
- 2003 平成16年 85歳
- 4月 とよなかの作家たち展、豊中市立ルシオーレホール/大阪府豊中市に出品する。
- 2004 平成16年 86歳
- 11月 老衰のため死去する。

- 2007 平成19年
- 2月 没後3年 今村輝久展、豊中市立市民ギャラリー/大阪府豊中市を開催し、1981年から2000年までに制作した16点の作品、ドローイング、鋳物原型、自筆原稿、出版物などを展示する。
- 2015 平成27年
- 1月 今村輝久展、ギャラリー白/大阪にて回顧展を開催する。
- 2015 平成27年
- 1月 今村輝久オープンアトリエを大阪市中央区瓦屋町で開催する。